

謹啓、厳寒の候ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたびは多大なる御厚情を賜り、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

今回の東日本大震災により、各地で本当に多くの被害があり、本校児童生徒も、震災後は、地震の恐怖や不安から、登校しても暗い表情を見せていましたが、2学期からは校外学習や水治訓練室での学習を再開するなど、通常の学習を行うことができるようになったことにより、少しずつ笑顔が戻り、以前のように学習に集中できる様子が見られるようになってきました。

少しずつ落ち着きを取り戻してきてはおりますが、回数は少なくはなってきたものの、余震もあり、原子力発電所事故の不安と合わせて、震災に対する児童生徒の心身の変化については十分に気をつけていかなければならない状況が続いております。

そのような中で、宇津木様には、遠路、来校いただき、義援金並びに児童生徒全員へのキーホルダーを直接届けていただきましたことは、私たち教職員だけでなく、児童生徒にとっても大きな励みとなりました。

このたびの義援金では、児童生徒が日頃の学習に有効に活用できる教材・教具を購入することとし、現在、購入する教材・教具の検討を進めております。児童生徒は、さらに、楽しく、充実した学習を行うことができるようになるものと思っております。改めて感謝申し上げます。

今後とも児童生徒の自立と社会参加を目指し、児童生徒一人一人に応じた指導の実践に努めて参りますので、今後とも、本校教育活動に対する御支援と御協力をよろしく願いいたします。

末筆ながら、貴法人並びに職員の皆様のますますの御発展と御活躍をお祈り申し上げ、略儀ながら書面をもちまして、御礼の御挨拶とさせていただきます。

敬 具

平成24年1月31日

NPO法人ソフトボール・ドリーム理事長 宇津木 妙子 様

福島県立平養護学校長 吉田 政勝